



学薬のひろば



< 2月号 >

Vol. 037

今月は、4日（豊橋：カリオンビル）11日（名古屋：東建ホール）において県学校薬剤師講習会が催されます。今回、講義において小・中・高と出そろった“薬剤師が話すくすりのお話”のプレゼンを基に、児童生徒への実際のアプローチの仕方を考えることをねらいとしてお話しさせていただきたいと思います。規制緩和の流れとともに薬剤師の積極的な社会参加が求められている折、学校薬剤師として積極的に取り組んでいただきたいと考えますので、是非ご参加ください。

なお、下記に大会参加報告とともに今年度行った県内一斉調査（学校環境衛生活動に関する実態調査）の結果報告をさせていただきます。

平成 18 年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会報告

愛知県・名古屋市学校薬剤師会

愛知県薬剤師会 学校薬剤支部会

山口 一丸

平成 19 年（2007 年）に築城 400 年を迎える熊本城をかかえた「歴史と文化の薫るまち」熊本市において、去る 11 月 16～17 日の両日、平成 18 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会が開催されました。初日、熊本テルサ（テルサホール）において開会式には日薬会長の中西敏夫先生の挨拶のあと日学薬会長の杉下順一郎先生がご挨拶されました。両会長の出席に学薬への関心の高さが感じられ、身の引き締まる思いでした。

初日は開会式に続き講義があり、昼食休憩後引き続き講義、特別講演が行われました。

講義は「学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導」演題で、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課・健康教育調査官の鬼頭英明先生から

1. 未成年における喫煙、飲酒、薬物乱用の現状と問題点
2. 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する教育の必要性
3. 対策
4. 喫煙、飲酒、薬物乱用教育
5. 教材の提供

について詳しい説明がありました。

特に、今の小・中学生はタバコ・アルコールの害についてはおおむね理解している。しかし「将来タバコを吸うと思うか？」という質問には高校男子では「思う」が約 30%にも達し、非常に高いことに驚かされた。

「将来酒を飲むと思うか？」という質問では男女とも差はなかったが小学校高学年で約 50%、中学生で



約60%、高校生では80%にも達した。

いずれも嗜好品であるが、未成年は禁止のものである。家庭での環境がかなり影響しているので、児童・生徒に対する教育のみならずご父兄に対する指導が不可欠であろう。

ただ、喜ぶべきは2000～2004年にかけての調査で、児童・生徒の喫煙経験率・飲酒経験率がいずれも減少していることだ。2000年と言えば、【健康日本21】がスタートした年であり、それに続いて学校敷地内全面禁煙など、全国各地で喫煙、飲酒に関する取り組みが以前より活発に行われた期間でもある。もちろんその流れは現在も続いている。したがって、今後も各学校において喫煙・飲酒問題は継続的に取り組む必要があることは言うまでもないとはなされ、続いて、

違法薬物で問題になっているのがMDMAかと思われる。シンナー・覚せい剤はここ最近検挙者が減少していて、政府は平成15年から2度目の薬物乱用防止5ヵ年戦略を実施しており一定の効果があつたと思われる。その一方で、青少年における薬物乱用の背景の最も危険なことは「薬物の使用は個人の自由」という考えが横行していることだ。特にMDMAはファッション感覚による乱用急増というこれまでにない様相を呈しているということも聞く。これらは性の逸脱行動にも関連してこよう。

児童・生徒のこうした問題は、一般的に「健康の価値への無関心」「社会規範に対する意識の欠如」などから、何らかの要因によって発生したストレスや不安感を解消しようとしたり、満足感などを得ようとするにあるとも言われている。このため、我々は、児童・生徒にまずは健康面（特に体を大切に思う心）からアプローチをしていくことが必要であろう。

と話されました。

講義は「水問題を認識する」と題して熊本県立大学 環境共生学部教授の篠原亮太先生から、熊本は世界有数のカルデラ・阿蘇を、西には豊穡の海・有明海を望み、豊かな自然に恵まれた都市であり、特に市民の上水道のすべてを賄う地下水や、清冽な湧水群、河川、湖沼など、世界でも稀とされる独特の水資源を有するとともに、水にまつわる風習や伝統行事など有形・無形の水資源が数多く存在し、地域の文化や風土として息づいているとして、水資源についてその保全の重要性をお話し頂きました。

特別講演は北里大学薬学部教授の望月眞弓先生に「小・中・高校生に伝えたい薬の常識」についてのお話しして頂きました。

2日目の環境衛生の分科会では、

- 1：学校プールのよりよい管理について、学校薬剤師と連携して実施した事例報告。プール日誌の適正記録によるプールの適正管理についての各発表が、
- 2：学校給食の衛生管理における薬剤師の役割は、*食中毒発生の防止 *異物混入の防止 *食品などの汚染の防止がポイントであるという発表。
- 3：学校環境部会ではダニ・ダニアレレルゲンについての発表

がそれぞれ行われ、発表後の質疑応答、協議検討が活発に行われていたことをお伝えします。

第39回 東海薬剤師学会学術大会報告

さる12月3日、静岡県の静岡コンベンションアーツセンター“グランシップ”において第39回東海薬剤師学会学術大会が開催されました。

学薬からは今回、ポスターセッションにおいて

「体操マットにおけるダニアレレルゲン」

と題して名古屋市で行った学校の体操マットでのダニアレレルゲン調査の結果を発表していただきました。

体操マットの清掃状況では、天日干しや掃除機による清掃を行っている学校は半数以下であり、ダニアレレルゲンの増加の可能性が大きいことからより注意が必要だと結ばれていました。



平成18年度 県内一斉調査
- 学校環境衛生活動に関する実態調査 -

愛知県薬剤師会学校薬剤師部会
愛知県学校薬剤師会

はじめに

学校環境衛生活動を円滑に進めるためには、校長をはじめ全ての教職員が「環境衛生活動が児童生徒等にとって必要不可欠な活動である」との共通認識が必要である。その為に、学校薬剤師による環境衛生検査に基づく事後指導が重要となる。今回は、事後指導の状況、「くすりのお話」の活用状況、学校給食の食品衛生管理について重点的に調査した。また、昨年度に引き続き、インターネットによる記入・提出を推進することとした。

調査結果

	回答率	ネットからの回答率
名古屋	92.6%	44.6%
尾張	81.6%	25.3%
三河	90.2%	27.1%
愛知県	87.2%	30.9%

2、執務記録簿・報告書は記載していますか？

	いる	いない
名古屋	88.4%	11.6%
尾張	90.8%	9.2%
三河	85.6%	14.4%
愛知県	88.3%	11.7%

2-イ、執務記録簿・報告書は誰が記載していますか？(複数の場合はその他)

	学校薬剤師	養護教諭	保健主事	その他
名古屋	37.3%	51.5%	1.4%	9.8%
尾張	55.0%	38.4%	0.2%	6.4%
三河	48.0%	42.7%	1.5%	7.8%
愛知県	47.5%	43.6%	1.0%	7.9%

3、検査結果はどなたが知っていますか？(複数回答可)

	養護教諭	保健主事	校長	全職員
名古屋	39.0%	24.4%	28.1%	8.5%
尾張	41.1%	22.2%	31.4%	5.3%
三河	38.4%	23.8%	32.3%	5.5%
愛知県	39.6%	23.4%	30.8%	6.2%

4、昨年度は基準値をクリアできなかった検査はありましたか？

	(イ) ある	(ロ) ない
名古屋	34.0%	66.0%
尾張	53.8%	46.2%
三河	39.2%	60.8%
愛知県	43.0%	57.0%

4-イ、 事後措置について指導しましたか？

	(A) した	(B) したのもあるが、しなかったものもある	(C) しなかった
名古屋	91.5%	7.8%	0.7%
尾張	92.0%	7.3%	0.7%
三河	89.6%	9.0%	1.4%
愛知県	91.1%	8.0%	0.9%

4-イ-A、 その後、改善されましたか？

	された	されたものもあるが、されなかったものもある	されなかった
名古屋	58.8%	36.2%	5.0%
尾張	48.1%	38.3%	13.6%
三河	50.9%	44.8%	4.3%
愛知県	51.4%	40.0%	8.6%

< 薬物乱用防止教育、くすりのおはなし等について >

5、 講演等の依頼がありましたか？

	(イ) 依頼があり話した	(ロ) 依頼があったが断った	(ハ) なかった
名古屋	20.5%	2.4%	77.1%
尾張	14.1%	1.5%	84.4%
三河	11.7%	1.7%	86.6%
愛知県	15.0%	1.8%	83.2%

5-イ- 、対象者は？

	児童・生徒	保護者	教職員	その他
名古屋	37.6%	30.4%	27.0%	5.0%
尾張	41.5%	28.5%	28.5%	1.5%
三河	43.1%	28.4%	25.9%	2.6%
愛知県	40.6%	29.2%	27.2%	3.0%

5-イ- 、何についてですか？

	薬物乱用防止	薬の使い方	タバコ・酒	シックハウス	その他
名古屋	33.8%	31.8%	18.6%	4.1%	11.7%
尾張	24.1%	27.6%	24.1%	6.3%	17.9%
三河	28.7%	25.5%	24.5%	3.2%	18.1%
愛知県	29.3%	28.8%	21.9%	4.6%	15.4%

5-イ- 、どの形体でおこないましたか？

	学校保健委員会での指導助言	総合学習の講師として	保健の授業でチームティーチング、講師として	薬物乱用防止教室(学級指導)の講師として	その他
名古屋	44.7%	24.8%	2.9%	18.1%	9.5%
尾張	59.3%	14.0%	5.8%	12.8%	8.1%
三河	43.9%	21.2%	7.6%	12.1%	15.2%
愛知県	49.4%	20.2%	5.1%	14.8%	10.5%

6、薬剤師が話す「くすりのお話(CD-ROM等)」を知っていますか？

	(イ) 知っている	(ロ) 知らない
名古屋	89.2%	10.8%
尾張	84.1%	15.9%
三河	81.5%	18.5%
愛知県	84.6%	15.4%

6-イ-、CD-ROMを持っていますか？

	いる	いない
名古屋	86.2%	13.8%
尾張	82.4%	17.6%
三河	81.2%	18.8%
愛知県	83.1%	16.9%

6-イ-、学校薬剤師として「くすりのお話」をする必要があると思いますか？

	ある	ない	わからない
名古屋	65.2%	7.0%	27.8%
尾張	61.1%	5.4%	33.5%
三河	67.2%	7.6%	25.2%
愛知県	64.5%	6.6%	28.9%

6-イ-、「くすりのお話」をする予定はありますか？

	ある	計画中	ない
名古屋	13.8%	18.9%	67.3%
尾張	7.8%	15.8%	76.4%
三河	7.6%	19.2%	73.2%
愛知県	9.5%	17.9%	72.6%

7、「くすりのお話」について学薬主催の講習会等への参加

	参加する・したい	しない
名古屋	72.5%	27.5%
尾張	71.1%	28.9%
三河	80.2%	19.8%
愛知県	74.8%	25.2%

< 学校給食の食品衛生について >

8、担当校は給食ですか？

	給食	給食ではない
名古屋	76.9%	23.1%
尾張	89.1%	10.9%
三河	90.1%	9.9%
愛知県	86.1%	13.9%

9、学校給食に関して定期検査を行っていますか？

	行っている	行ったことはある	行っていない
名古屋	91.5%	1.9%	6.6%
尾張	59.8%	4.0%	36.2%
三河	45.5%	10.6%	43.9%
愛知県	62.3%	6.0%	31.7%

10、担当校の調理場は？

	共同調理場(給食センター等)	単独調理場(校内施設にて)
名古屋	18.2%	81.8%
尾張	75.4%	24.6%
三河	78.5%	21.5%
愛知県	62.3%	37.7%

11、給食施設・設備・従事者の検査及び日常点検等は適性に行われていますか？

	いる	いない	わからない
名古屋	98.4%	0.0%	1.6%
尾張	81.7%	0.2%	18.1%
三河	82.2%	1.2%	16.6%
愛知県	86.1%	0.5%	13.4%

12、給食配膳室の衛生管理・日常点検等行われていますか？

	いる	いない	わからない
名古屋	97.5%	0.0%	2.5%
尾張	84.2%	0.2%	15.6%
三河	84.9%	0.6%	14.5%
愛知県	87.8%	0.3%	11.9%

13、給食当番(児童・生徒)に対して、手洗い・消毒等の衛生管理・点検が行われていますか？

	いる	いない	わからない
名古屋	93.1%	1.6%	5.3%
尾張	85.7%	2.1%	12.2%
三河	87.4%	0.2%	12.4%
愛知県	88.1%	1.3%	10.6%

14、食中毒発生の際の連絡体制は検討・確認されていますか？

	いる	いない	わからない
名古屋	86.5%	0.6%	12.9%
尾張	71.3%	3.4%	25.3%
三河	78.5%	2.9%	18.6%
愛知県	77.8%	2.5%	19.7%

考察

今回は、平成17年4月より18年3月までの実際の活動に基づき担当校毎に回答いただいた。回答率は87.2%と昨年の86.9%とほぼ同じ回答を得ることができた。また、インターネットによる回答が30.9%、とくに名古屋市部が44.6%とご協力をいただき(昨年は10%未満)、集計業務の効率化をはかることができた。回答の精度を上げるためにも、今後も引き続き県学業のホームページの活用をお願いしたい。

1. 学校薬剤師の活動状況について

学校においては、環境衛生検査の結果に基づき必要に応じて施設・整備の修繕等の事後措置を講じなければならず、環境衛生検査の実施、事後措置等については、学校薬剤師等の指導・助言を得ることになっている。昨年度は基準値をクリアできなかった検査は愛知県全体で43.0%あったが、91.1%において事後措置の指導がされた。(なんらかの指導をしたことがあるまでを含めると99.1%)そのうち51.4%において改善され、一部改善までを含めると91.4%になんらかの改善がされ成果がでていいると考える。執務記録簿や報告書の記入は、47.5%が学校薬剤師により記入されており、これは昨年度とあまり変化がなかった。学校薬剤師自身の記録が望まれる。

2. 薬物乱用防止教育、くすりのおはなし等について

講演等の依頼があったのは全体でまだ16.8%と多くはなかったが、昨年と比較し名古屋市内では依頼があり話したのが14.7%から20.5%と若干の増加が見られる。今後も積極的に取り組むとともに継続をして実施したい。一方、「くすりのお話」を知らないとの回答が15.4%、また知っているもCD-ROMを持っていない人がそのうちの16.9%みえるので、各支部もしくは県学業にお問い合わせいただきたい。今年度は、小中学生用に加え、高校生用のCD-ROMも作成したので、是非ご活用いただきたい。

3. 学校給食の食品衛生について

給食施設・設備・従事者の検査および日常点検、ならびに給食配膳室の衛生管理・日常点検、手洗い・消毒等の衛生管理はすべて80%以上が実施されているが、定期検査に関しては名古屋市は91.5%で実施されているものの、尾張59.8%、三河45.5%と差が見られる。これは調理場が共同か単独かの違いが影響していると推測される。